

●地球上のどこにも存在する「水銀」

「水銀」は、地球上のどこにも存在している物質です。もとは岩石や土壌に含まれていましたが、火山の噴火や地殻変動など46億年にわたる地球の自然活動により、大気中に放出されました。それが雨とともに地表に降り、河川や海水中にも存在するようになりました。

地表における水銀の循環 (推定量)

水銀のあらまし



蓄積している水銀量

循環している水銀量



環境省：国立水俣病総合研究センター「水銀と健康」第4版(平成22年5月)より引用

●人間の活動による排出増加が問題に

水銀は、産業革命以降、自然活動による放出だけでなく、金の採掘や石炭など化石燃料の消費といった人間の活動による排出が増加しています。また、水銀が利用されている様々な製品を廃棄するとき、水銀を回収せずに捨てることによっても排出されてしまいます。

地球上で循環する水銀の量と比べると、人間が排出している水銀の量は少ないのですが、それによって引き起こされる環境汚染は局所的に深刻な問題を引き起こし、そこに住む人々に健康被害をもたらします。

水銀による環境汚染を防ぐために、環境中に排出する水銀の量を減らす努力を続けることが大切です。


●これからの「水銀とのつきあい方」について

正しい知識を持って、上手に「水銀」とつきあっていきましょう！

近年は水銀を使用しない代替製品の開発や普及が進み、国内における水銀使用量は約50年前の200分の1以下に減少しています。しかし、少なくなったとはいえ、必要な用途は残っており、製品が壊れてしまったときなどの処理方法によっては、周囲の環境を汚染して人々の健康に影響する可能性があるため、取扱いには気をつける必要があります。

使える製品は正しく使い、捨てるときには適切に処分できるように、正しい知識を学んで上手に「水銀」とつきあっていきましょう。

水銀を含む製品を知る 正しく利用する 適切に処分する 使う量を減らす



水銀は、広く地球上に存在するとともに、昔から身近な製品として様々な用途で日常的に利用され、私たちの暮らしに役立ってきました。その一方で、日本の公害の原点と言われる水俣病は、チッソ(株)水俣工場(当時)が水俣湾等に流した工場排水中にメチル水銀化合物が含まれていたことが原因で発生しました。また、海外では、現在でも金の採掘などの産業活動による水銀の排出が続いており、環境汚染の広がりやそのことによる健康被害の発生が懸念されています。

そこで、国連環境計画(UNEP)では、水銀の排出量や使用量の削減に向けた国際的なルールづくりに取り組んでいます。

水俣病を経験した熊本県は、このUNEPの取組みに賛同し、水銀についての基本的な知識を県民の皆様にお知らせするとともに、水銀を使った製品の現状や取扱い、今後の取組みについて正しく理解していただくことが必要と考え、このリーフレットを作成しました。

制作・発行 / 熊本県
監修・協力 / 藤木素士先生 熊本県環境センター館長(筑波大学名誉教授)
中村政明先生 熊本大学大学院自然科学研究科准教授

お問い合わせ / 環境生活部環境政策課
〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1
☎096-333-2263 FAX096-383-0314
e-mail: kankyouseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページでもご覧いただけます！
<http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/42/>

平成24年2月

Encyclopedia of Mercury

知って納得! 三二事典

水銀とのつきあい方



熊本県

●はじめに

水銀は、「金属だけ常温で液体」という珍しい特徴を持ち、世界中の人々の暮らしの中で様々な用途に利用されてきました。しかし、水銀は環境中に放出されると環境汚染や健康被害の原因となる恐れがあることから、現在、排出量を減らすための国際的なルールづくりが進められています。私たちは地球に暮らす仲間の一人として、何ができるかを考えなくてはなりません。

あなたはどれだけ知っている? 水銀クイズ



それでは、「水銀」についてまずはクイズから始めてみましょう! ○か×かで答えてね!



Q1 「水銀」は、自然界に存在せず、人が作り出したものである。

答.

Q2 日本で使われる「水銀」の量は、最も多かったとき(1964年)と比べると、今は10分の1に減っている。

答.

Q3 私たちの身の回りに「水銀」があったとしてもごくわずかなので、取扱いに気をつける必要はない。

答.

Q4 「水銀」は、その名のとおり液体状の金属で、固まったり、蒸発したりすることはない。

答.

Q5 「水銀」は、金属水銀だけでなく他にも種類がある。

答.

Q6 「水銀」は、今でも私たちの身近な生活用品に使われている。

答.

Q7 「蛍光灯」がつかなくなったので、細かく割ってガラスとして捨てた。

答.

Q8 「水銀体温計」を割ってしまい、「水銀」がこぼれてしまったので、すぐに掃除機で吸い取った。

答.

Q9 「ボタン電池で動くゲーム機」が壊れたので、そのまま「埋め立てごみ」として捨てた。

答.

Q10 「水銀」が排出される量を減らすために、たくさんの国々が協力して取り組んでいる。

答.

答えは中面にあるよ。